



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2024年06月17日 第1172号「週刊五十嵐レポート」

試しにやってみる

6月11日付朝日新聞、「NBAやバルサ・・・スクール続々」という記事。

海外の名門スポーツ団体やクラブが相次いで、東京都内でスクールを開講している。米国のNBAは4月日本初のスクールを設置。日本市場はビジネスを拡大させる余地があるとみている。バスケットボールは日本の男女共に五輪に出場、日本バスケは急成長中。NBAにとってファンづくりの狙いもある。スポーツをする場の中心が学校の部活から地域のクラブチームに移行しつつある。そこに海外クラブのビジネスチャンスが生まれている。

6月12日付日経新聞、「ビールより高いレモンサワー」という記事。

アサヒビールは蓋(ふた)をあけると輪切りレモンが浮かび上がる世界初の缶酎ハイ「未来のレモンサワー」を発売。酎ハイ市場は安さで成長したが、主力のビールより高くした。蓋を全開すると沈んでいるレモンが浮かぶ。生ジョッキ缶の技術を転用。希望小売価格を298円。通常商品(150円前後)の約2倍。主力ビール(225円前後)より3割高い。価格競争と一線を画す。唯一無二の価値を提供。コモディティ(汎用性)化を避ける。新しい市場を創る。

新商品開発や新市場を開拓するには苦労や反対がつきもの。6月14日付日経新聞、「人間発見」は西川会長の西川八一行(やすゆき)氏。大ヒット商品「AiR」は、最初社内の大半が反対。こんなものを売り出せば、既存の商品が売れなくなる。これらの反対を抑えたのが西川家の先代たち(400年以上)の数々経営訓だった。社員たちも聞く耳を持った。

夕方ランニングから帰ってくると午後7時だというのに中学校のグラウンド(ナイター)で少年少女たちがサッカーをしている。明らかに部活ではない(部活は6時に終わっている)、クラブチームである。部活からクラブチームへ。時代が変化するとそこに(少子化だけ)新しい市場が生まれる。

新しいことを行う場合、社内から反対がある。この反対を押しつけて、はじめて世の中に出てくる。3Mのポストイットも当初反対された。開発者の強い意志で商品化して大ヒットした。我々も、自分の命に別状がなかったら試しにやってみる。そうすれば新しい扉が開かれる。

ちょっと
気になる出来事

5月25日付日経新聞、「こころの健康学」は「遅寝早起きで眠り深く」。規則正しい生活をしようとして早寝早起きを心掛ける人がいるが早寝をするのは難しい。早く寝ようとしても体にその準備ができていない。いつも寝ている時間の2時間前くらいから、睡眠禁止ゾーンと呼ばれる覚醒度の高い状態になり寝つきにくくなる。それでも寝ようとするとかえって、緊張して寝つけなくなる。

睡眠時間が短くなって疲れると考えるかもしれないが、太陽の光を浴びると一定時間が経てば眠気が出てくるのでむしろ規則正しい生活になる。睡眠時間が短くなった方が睡眠は深くなる。

実際は、床にいる時間が長くなりすぎると眠りが浅くなって疲れが残りやすくなる。遅寝早起きを意識する。睡眠時間を短くして眠りを深くする。睡眠制限法と呼ぶ。

このコラムを読んでから、遅寝早起きを意識した。するとスマートウォッチからのデータでは、私の場合、遅寝早起きをした方が深い眠りのパーセンテージが増えた。つまり深い睡眠が多くなった。たしかに疲れもない。私には「遅寝早起き」が合う。



一口メモ
知識

己(おのれ)に克(か)つ

君子もって礼にあらざれば履(ふ)まず(雷天大壮らいてんたいそう)。

雷天大壮の卦は大いに壮(さか)んな勢いの時を説く。

「礼」はマナー・礼儀であるが、ここでは「己に克つ」ことを指している。

何をやってもうまくいくような勢い壮んな時は大胆に豪快に行動すべきである。しかし、勢いがあるだけに自制することが難しくなる。克己心(こっきしん)がないとコントロールがきかなくなり、時には善悪の判断さえも失い、非道を平気で行うようになってしまう。

この言葉は、そうした時に「礼」の道でなければ絶対に履み入れてはいけないと戒めている。この礼について、孔子、老子、そして中庸も次のように記している。

孔子—己に克ちてて、礼にかえる。老子—自ら勝つ、之を礼という。

中庸—中立して、流れず。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

